会議録

- ○会議名 令和6年度 第2回防災会議
- 〇日 時 令和7年2月5日(水)午後1時25分~午後2時30分
- ○場 所 八雲町役場2階 第1·第2会議室
- ○出席委員 21名(随行者4名)
- ○事務局 9名
- ○傍 聴 者 10名

≪会議録要旨≫

- 1 開 会 危機対策課長
- 2 町長挨拶 町長 岩村克詔
- 3 議事
 - (1)「八雲町津波避難計画改定案」について
 - ○事務局(応用地質株式会社)より説明。
 - ○航空自衛隊八雲分屯基地

津波浸水シミュレーションの動画は良い資料だ。教育啓発用に使用できるとよいのではないか。 動画データは町に納品されるか。公開の予定はあるか。

○事務局(危機対策課)

津波避難計画策定業務の成果品として受領する。今後、地域ごとに避難計画を検討していく必要があり、各地域に展開する予定だ。その際に津波浸水シミュレーション動画も活用したい。公表や貸し出しも検討したい。

○渡島総合振興局 地域創生部

避難困難地域には JR 線の線路が入っている。胆振地域の自治体は、線路横断について JR と協議を始めている。八雲町では線路横断について検討が必要な地域はあるか。

○事務局(危機対策課)

JRの線路横断について、室蘭市などがJRと協議を行っていることは承知している。八雲町内にも線路横断の対象は何カ所かあるとみている。渡島総合振興局とJRとの協議の場に参加させてもらいたい。

- (2)「令和7年度やくも防災フェスタ開催案」について
 - ○事務局(危機対策課)より説明。

やくも防災フェスタ実行委員会の会長、副会長、幹事について、防災会議委員から選任したい。 選任方法について意見を確認したい。

○八雲町町内会等連絡協議会長

事務局に一任する。

○事務局(危機対策課)

ほかの皆様も同意いただいたようですので、実行委員会事務局が専任したい。八雲町内に立地する機関から会長、副会長等を選任する予定だ。渡島振興局はオブザーバー参加をお願いしたい。

○町長

八雲町の合併20周年でもあり、防災意識が高まるフェスタにしたい。

4 その他

(1) 意見交換等(各機関からの情報提供等)

○渡島総合振興局 地域創生部

今後、津波避難計画が策定されると津波避難訓練などを開催することになると思うが支援していきたい。

○北海道 森林管理局

豪雨災害時の土砂災害に対して強靱化を図るために治山事業を進めていく。山火事は国内外で発生しており、引き続き災害対策に努めていきたい。

○函館方面 八雲警察署

災害発生時の警察の役割は、救援・救助と治安の維持の2つがある。しかし、八雲警察署は装備 も少なく、職員は多くないがマンパワーしかない。地域と協力して進めたい。

○八雲町消防本部

来年度に防災フェスタを開催する紹介があったが、この数年、コロナ禍もあり町内で各機関合同 の防災訓練が開催できていなかった。各機関が連携した訓練が必要だろう。

○八雲町漁業協同組合

漁業協同組合では新事務所を建設しており、本年3月から運用開始予定だ。津波避難場所に指定される場所ではないが、非常用電源を導入するなど、発災時には町民を支援する施設としていきたい。

○八雲町町内会等連絡協議会

津波避難計画について書面で説明があったが、書面を読むだけでは災害時にうまくいかない。町が地域に出向いて説明、指導をしてもらいたい。

○八雲アマチュア無線クラブ

避難路の設定について説明があったが、内浦などの海岸部をはじめ、だれがどこに逃げるかを予め決めておくことが重要ではないか。地域ごとに何人がどこへ逃げるか設定が必要ではないか。

○事務局(危機対策課)

本計画は町全体の津波からの避難の考え方を示したものだ。地域のリスクは千差万別なので、今後はこの計画をもとに町内会の会合などに赴いて、地域別の避難方法、避難計画を地域の皆さん

とともに作り上げていく予定だ。

○東日本電信電話(株)北海道事業部

NTT 東日本グループは、令和7年1月21日に「防災研究所」の立ち上げを公表した。山形県の 置賜地区をモデル地区として展開していく予定だ。

○北海道電力ネットワーク(株)

津波被災時の停電の早期の仮復旧、本復旧に向けて訓練を行っている。八雲町津波避難計画の改定は3月とのことだが、策定されたのち、必要に応じて訓練方法などを微修正し、災害時の停電対策を進めたい。

○航空自衛隊

航空自衛隊は防災フェスタを含め、防災の協力を進めたい。

八雲町地域防災計画には陸上自衛隊しか記載されていないので、航空自衛隊の記載もしてもらいたい。

○事務局(危機対策課)

物資供給等を考えると航空自衛隊は防災拠点になりうると考えており、協力連携をしていきたい。

5 閉会